

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和 7 年度 第 1 回 加須市総合振興計画審議会
開催日時	令和 7 年 8 月 2 2 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時まで
開催場所	加須市役所 本庁舎 5 階 5 0 5 会議室
議長氏名	石上 泰州会長
出席委員	石上 泰州会長、武正 寿明委員、内田 親委員、 尾高 幸江委員、小西 七郎委員、嶋田 善市委員、 内田 俊輔委員、市川 邦夫委員、鈴木 君恵委員、 眞中 紀委員、大塚 利雄委員、坂本 優太委員、 大河内 修治委員、高柳 正行委員、風間 啓委員、 庭山 正幸委員、佐藤 政代委員（17 人）
欠席委員	石川 安則副会長、小山 郁子委員、山中哲大委員（3 人）
会議次第	1 開 会 2 委 嘱 3 市長あいさつ 4 会長・副会長の選任 5 議 事 （1）第 2 次加須市総合振興計画前期基本計画の令和 6 年度取組 結果について （2）加須市まちづくりアンケート調査結果等について （3）第 2 次加須市総合振興計画後期基本計画策定等スケジュール について 6 閉 会
会議資料の名称	・ 次第 ・ 加須市総合振興計画審議会委員名簿 ・ 【資料 1－1】第 2 次加須市総合振興計画・前期基本計画 令和 6 年度取組結果 ・ 【資料 1－2】第 2 次加須市総合振興計画進行管理対象指標一覧 ・ 【資料 1－3】第 2 次加須市総合振興計画・前期基本計画 進行管 理調書 ・ 【資料 2－1】加須市まちづくりアンケート調査結果 ・ 【資料 2－2】第 2 次加須市総合振興計画・前期基本計画 令和 6

	年度時点の取組状況 ・【資料3】第2次加須市総合振興計画後期基本計画策定等スケジュールについて
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	副市長 萩原 利一、総合政策部長 石井 幸子、 環境安全部長 増田 浩之、こども局長 田村 禎子、 政策調整課長 瀬田 博之
事務局職員職・氏名	副市長 萩原 利一、総合政策部長 石井 幸子、 環境安全部長 増田 浩之、経済部長 野崎 修司、 こども局長 田村 禎子、健康スポーツ部長 松永 勝也、 政策調整課長 瀬田 博之、同課主幹 白戸 浩貴、 同課主幹 萩原 宏和、同課主査 関根 徹、 同課主査 古本 有里沙
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第 3 号（第 8 条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
角田市長	2 委嘱
角田市長	3 市長あいさつ
事務局	4 会長・副会長の選任 加須市総合振興計画審議会条例の規定により会長 1 名、副会長 1 名を委員の互選により定めるとしている。 また、会長が議長となるとしているが、現在空席のため、会長、副会長が選任されるまでの間、暫定的に会議を進行する仮議長を選出したい。 仮議長に角田市長を充てたいが、よろしいか。
各委員	異議なし
事務局	ご異議がないので、角田市長に暫時進行をお願いする。
仮議長(角田市長)	会長・副会長を互選によって定めるということだが、ご意見があればお願いしたい。
市川委員 内田（親）委員	事務局の腹案があれば示してほしい。
仮議長(角田市長)	市川委員、内田（親）委員から事務局の腹案とのご意見があったが、事務局に案はあるか。
事務局 瀬田政策調整課長	事務局としては、会長に、合併以降の加須市総合振興計画の策定に当たり、審議会の会長としてご尽力をいただいている石上委員にお願いしたい。 また、副会長については、本日は欠席となっているが、同様に、合併以降の本審議会において、自治協力団体連合会会長にお務めいただいていることから、石川委員にお願いしたい。
仮議長(角田市長)	事務局から、会長に石上委員、副会長に石川委員との案が示されたが、いかがか。
各委員	異議なし

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
仮議長(角田市長)	ご異議がないので、会長に石上委員、副会長に石川委員にそれぞれ就任いただくことに決定した。
事務局	市長は、公務の都合により退席させていただく。 ここで、石上会長にご挨拶をいただきたい。
石上会長	あいさつ
事務局	(事務局の紹介、配布資料の確認) 以後の議事進行については、石上会長にお願いしたい。
石上会長(議長)	5 議事 (1) 第2次加須市総合振興計画前期基本計画の令和6年度取組結果について、事務局から説明をお願いする。
瀬田政策調整課長	(資料に基づき説明)
石上会長(議長)	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。 (意見等なし) 気付いた点があれば、後でも結構なのでご発言いただきたい。 続いて、(2) 加須市まちづくりアンケート調査結果等について、事務局から説明をお願いする。
瀬田政策調整課長	(資料に基づき説明)
石上会長(議長)	議事(1)の資料では、149項目(指標)の昨年度(令和6年度)の成果を中心に見ていただいたが、議事(2)の資料では、この調子でいくと前期基本計画の5年間でどれくらい目標が達成できそうなのかを「◎」や「○」などで示している内容となっている。 また、アンケート調査は、5年ごとに市民に対し市政に対する項目別の満足度を調査したものである。満足度はほとんどの項目で上昇しているが、一部で下がっている項目もある。それも踏まえて、ご意見などをいただきたい。
風間委員	「加須市まちづくりアンケート調査結果」について、全般的には満足度が向上しており、まさにこれまでの市政運営の賜物だと思うが、第3章「魅力と活力を生む産業のまちづくり」の「商業の活性化」では、マイナス21ポイントと「満足度推移の合計」が最も下がってい

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
瀬田政策調整課長	る。具体的にアンケートの内容が分からないが、市民の方々はどのようなポイントでこのように評価したのか、分かる範囲で教えていただきたい。 アンケートについては、市の各施策について満足度をどのように感じているのかという設問としており、それに対し、満足、やや満足、普通、やや不満、不満の中から感覚的に回答をいただく形となっている。このため、具体的な理由を記入するようにはなっておらず、何に対して不満かということはアンケート結果では分析できない。
風間委員	感覚的であるとはいえ市民の満足度が下がっていることに対する対応策は何か検討されるのか。
瀬田政策調整課長	アンケート結果を踏まえ、現在、市の内部において後期基本計画の策定作業を行っている。後期基本計画に改善できるような施策を盛り込み、お示しできればと考えている。
石上会長（議長）	ほとんどの項目で満足度が上がっているが、いくつか下がっている項目もある。特に、ご指摘いただいた「商業の活性化」においては、重要度が非常に上がっている中での満足度の評価ということなので、後期基本計画の5年間において、力を入れて取り組んでいただけるものと思う。
嶋田委員	私たちは、地域のこどもたちが健やかに成長できるよう、その家庭を支えるためにこども食堂・フードパントリーの運営に取り組んでいるボランティア団体である。 資料1-3の「こども食堂・フードパントリー実施場所数」に載っているとおり、地域におけるこども食堂は令和6年度に新たに2団体増えた。 このフードパントリーの利用に、先日新たに10世帯ほど申込みがあった。これも、8月の児童扶養手当現況届やひとり親家庭等医療費受給者証の更新時期において、市の窓口でこども食堂・フードパントリーの一覧表を渡してPRしていただいた結果だと思っている。 また、市の広報紙での特集記事の掲載や、ホームページでのフードドライブの実施の周知など、子育て支援課で積極的に情報を発信していただいたことで、企業、団体、個人の皆様に広く活動が認知され、地域での支え合いの輪が着実に広まっていることに深く感謝申し上げたい。

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
田村こども局長	このような支援があることを引き続きPRしていただき、少しでも多くの家庭を食料面で手助けできればと思っている。 また、ここにいらっしゃる埼玉りそな銀行加須支店やかぞ地域女性会連合会の皆さんにもフードドライブに参加いただき、様々なご協力をいただいている。 今後も、こどもたちの健やかな成長を支えるために、市と手を携えて取り組んでまいりたい。 市では、こども食堂・フードパントリーの活動への側面支援を行っており、お話にあったように、ひとり親家庭への手当の支給の際にこども食堂・フードパントリーや市が行うフードドライブの周知を図ることで、「団体連絡会」の活動を支援させていただいている。 フードドライブについては、回を追うごとに支援いただく物品や団体が増えており、令和6年度の実績では、1年間で9,562点の支援をいただいた。 引き続き、市のひとり親家庭や経済的に困窮している家庭への食の支援として、「団体連絡会」と連携しながら、支援の輪を広げていきたいと考えている。
市川委員	資料2-1の3項目(「住みやすい」「住み続けたい」「住んで良かった」)のアンケート調査結果では良い結果となっているが、一方で、自治会に加入しない方が非常に増えていることが問題となっている。 「こういうことをやるために引っ越したわけではない」、「こういうことをやるくらいならば出てしまう」という声もあることを職員の皆さんに改めて周知してもらい、何が不足しているのか、これからどうすべきなのか、自治会の加入者の少なさについて考え直してもらいたい。
石井総合政策部長	自治会の活動については、資料2-1のアンケート調査結果で言うと、6ページの「第5章 協働による持続可能なまちづくり」の3番、「市民と行政との協働」の施策が該当するが、満足度は上がっている。しかし、お話のとおり、見えない課題として、自治会加入率が低下していることは、市としても大変憂慮すべきことと考えている。 資料2-2の12ページにある「自治協力団体加入率」の指標では、前期基本計画の目標の令和7年度80.6%に対し、令和6年度の段階で73.8%とそれほど開きはないが、令和3年度からは年々減少している。このことは、自治協力団体連合会において、自治会長の代

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
石上会長（議長）	表の方々とも問題視しているところである。 どうしたらいいかということも踏まえ、これからお示しする後期基本計画素案の中に位置付けてまいりたい。 自治協力団体加入率については、目標値に対して8割を達成しているため「○」となっているが、少しずつ上げていく計画に対し、実際は少しずつ下がっている。決して安心できない状況ということで、重点的に取り組む項目であると認識している。
尾高委員	今年度は、民生委員の改選期である。これまでの民生委員の多くが辞退し、相当の欠員数が出るような状況である。 欠員の原因として民生委員の高齢化がある。また、自治協力団体の協力をお願いしていたが、なかなか協力いただけない地区があり、民生委員を選び辞令をいただくまでの期間、充足できない状態が続いている。 民生委員になりたい人、なれそうな人がいらっしゃったら、ぜひとも声をかけていただき、民生委員のなり手不足の解消について考えていただきたい。 民生委員のなり手がいないということは、地域の高齢者や小さいお子さんに対して支援の手が届かないということになる。ぜひとも皆さんの協力をお願いしたいと思っている。
萩原副市長	民生委員については、市から自治協力団体等をお願いしているが、お話のとおり、なり手の確保が難しい状況で、市としては大きな課題である。 民生委員に限らず、消防団や交通指導員についても人員が確保できないということで、大きな課題となっている。 市議からも今回の9月議会において民生委員の関係の質問をいただいている。市職員のOBが担う必要があるのではないか、市職員のOBに声をかけているのかといった質問もある。 市の重要事項として捉え、課題解決に向けた検討を引き続き行ってまいりたい。
石上会長（議長）	続いて、（3）第2次加須市総合振興計画後期基本計画策定等スケジュールについて、事務局から説明をお願いする。
瀬田政策調整課長	（資料に基づき説明）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
石上会長（議長）	委員の皆様には、活発かつ建設的なご意見をいただき、感謝申し上げます。本日の意見については、事務局にて整理して適切に対応していきたい。その他の事項はあるか。
市川委員	地球温暖化の影響もあり、災害の発生については皆さん大変危機感があると思う。利根川が氾濫するという前提で防災訓練に参加している。利根川もそうだが、例えば近年のゲリラ豪雨により一般河川が氾濫して住宅の床下・床上浸水が発生した場合の対応について市はどのように考えているのか。
増田環境安全部長	利根川決壊を想定した総合水害広域避難訓練は、毎年定期的に実施し、定着化していると思う。 最近の線状降水帯等による集中豪雨については、避難するいとまがないものと考えている。避難することにより、逆に被害が出る可能性もある。想定する浸水深も、集中豪雨であれば2階を超えることはないため、自宅の2階以上への垂直避難を推奨したい。平屋であれば2階のある近くの小学校などの公共施設に避難していただく、ということで、短時間に集中した雨が降る場合は、遠くへの避難ではないということをご理解いただきたい。
石上会長（議長）	その他、ご発言はあるか。
瀬田政策調整課長	（次回日程は9月下旬で調整中であり、決定次第委員に通知することを説明）
石上会長（議長）	まだ次回の日程が決まっていないということなので、早めに決めた上で、連絡をさせていただく。 以上をもって、本日予定された議事を全て終了する。
事務局	6 閉会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和7年 9月10日 署名 <u>石上 泰弘</u>	